

# 交付税が減っても、太良町は残せます

良夫 合併しないで太良町を残したいという町民のみなさんの願いは大きいね。

太郎 役場がなくなれば暮らしが不便になる、最後には太良がさびれてしまうとみんな心配しているんだ。

良夫 でも、合併しないと交付税がなくなるのではないかと心配している人が多いよ。

## 「合併しなければ交付税がなくなる」はウソ

太郎 そんなことはない。11日に開いた講演会で、福岡県大木町の町長をしていた石川隆文さんは、「交付税の金額は法律によってきまるもの。合併するかしないかで金額に差がつくことはない」とはっきり言っていた。国も国会でそう答えている。

民夫 合併しなくても、交付税はちゃんとくるということで安心した。だけど、「交付税がへらさされたら、太良は財政的にやっていけるのだろうか」と心配している町民も多いよ。

## 交付税が減った分 - - 人件費や経費を減らす

太郎 心配ない。交付税が減らされても、人件費や経費を減らせばいい。次の表は、試算例を示したものだ。たとえば、地方交付税が5億円減ったとしよう。そうすると、支出で地方交付税をふくむ一般財源等を5億円減らせばいい。

	15年度予算額	一般財源等の削減額	一般財源等の割合	他の財源を含めた削減額	削減率
	A	B	C	D=B÷C	E=D÷A
人件費	9億1600万円	1億7000万円	97%	1億7500万円	19.1%
物件費	6億5400万円	8000万円	83%	9600万円	14.7%
補助費等	6億8900万円	5000万円	70%	7100万円	10.4%
施策可能経費	16億0700万円	2億円	40%	5億円	31.1%
合計		5億円		8億4300万円	

(「一般財源等割合」は14年度決算より計算。施策可能経費については、普通建設事業費の数字)

良夫 それで、人件費1億7000万円、物件費8000万円などとしているわけだね。その合計額は5億円になる。人件費削減の内訳をもう少し詳しく話してくれないかね。

太郎 職員や各種委員は2割減、議員定数は4名減、助役の廃止で全体として人件費を2割程度減らすとして試算してみたのがこの数字だ。

良夫 職員の賃金はそのままだね。太良病院をふくめると52才以上の職員が31名いる(15年4月1日現在)から、定年退職をまてばよい。解雇ということは、職員も安心だね。つぎの、「他の財源を含めた削減額」というのはなにかね。

太郎 実は、各種の経費は一般財源等だけでなく国・県補助金、借金などいろんな財源から成り立っている。たとえば、「補助費等」は、70%は一般財源等だが残りの30%は、他の財源だ。逆算すると、一般財源等を5000万円削ると、他の財源もふくめて7100万円の「補助費等」が削減されるということだ。これが、「他の財源を含めた削減額」だ。

良夫 要するに、交付税が減らされても太良町はやっていけるということだね。これで安心した。

**合併問題の話**  
お茶の間に出前します  
お茶の間の2~3人の集まりにも出前します。どんどん、声をかけてください。

## 合併しないと決まれば、すぐに町財政の見直しを

太郎 これは、一つの試算例だ。どこをどれだけ削るか、収入がこれ以上減れば、どの項目の削減率を大きくするか、これは町民の議論で決めることだ。

良夫 基金がどんどん減って、借金が増えているけど大丈夫かね。

太郎 この2~3年の基金の減り方が大きい。合併前に基金は使ってしまうという考えがあるのではないかと気になる。基金は大事に残しておくべきだ。住民投票で合併しないとなったら、太良病院の改築計画をふくめて真っ先に町財政の抜本的な見直しをしなければならないね。

## 合併反対・太良町を残そう

No.20 2004.4.28

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

# 水道料は高くなならない、太良に総合支所をおくというが 合併後、ずっと続く保証はありません

良夫 合併協議会の人、太良に総合支所をおくので、合併しても不便になることはない、太良の水道料金が上がることはない、太良の無料検診を鹿島まで広げるので心配ないといっていたよ。

質問に課長さんたちは、はっきり回答することはできなかったよ。百武町長は「つづけるかどうかは、合併後の執行部が判断する」と答弁だった。

良夫 百武町長の答弁の通りだね。合併後すぐに市長選挙、1年数ヶ月後には市議員選挙が行われる。おそらく、市役所も市議会も鹿島主導になるだろうね。そうなったら、合併協議会できめたことも、財政難を理由に、いくらでも変更できるということだね。

## 「財政難だから合併する」と言っているのではないか

太郎 合併協議会では、そんなことを決めたが、もともと「財政が大変だから合併する」といっているんじゃないか。職員を大勢減らすというのに、太良に大規模な総合支所を置けるはずがない。

水道料も鹿島と太良では大きく違う。(月10リユベで鹿島市1600円、太良町1000円)

良夫 合併したあと、「同じ市民でありながら、こんなに格差があるのはおかしい」という声が必要出てくるね。

太郎 合併する旧市町村間の住民税や公共料金、サービスの格差をならすために普通交付税の合

併補正(5年間) 特別交付税措置(3年間)があるが、いずれも5年または3年という期限付きだ。その後は、財源の保証はない。ずっと続けていく保証はないということだ。

良夫 最近の朝日新聞(4月22日付)に、昨年12月に4町が合併して発足したばかりの三重県・いなべ市長の話がのっていた。「合併するかどうかの話合いの段階では、住民に同意してもらう必要から、水道は下から2番目に、国保は最低の額にあわせたが、早晚値上げせざるを得ない」という内容だ。鹿島・太良の場合も、同じじゃないかね。

## 「合併後のことは、合併後の執行部の判断」と百武町長

太郎 1月末に開かれた役場の説明会では、このことに町民の質問が集中した。「合併後、(水道料金を安く据え置くなどということが)ずっと続けられる保証はあるのか」という町民の

### カンパのお願い

1月以来、30人以上の方から、カンパをいただきました。おかげでピラの発行を続けています。住民投票まで、ピラの発行を続けます。このあともご協力をお願いします。

### 中木庭ダムの水を使わなくとも、ダム建設費の負担はかかる

鹿島市の桑原市長は、「中木庭ダムから取水することはない」と言っていますが、ダム建設に対する鹿島市の負担金の問題には口をつぐんでいます。

中木庭ダムは多目的ダムで、その目的の一つは鹿島市に水道水を供給することです。建設費は350億円の見込みで、そのうちの8.7%を水道が負担することになっています。さらに、そのうちの2分の1は国が負担し、2分の1は鹿島市が負担することになっています。これは、鹿島市が中木庭ダムから受水するかどうかに関わりなく負担しなければならないお金です。14年度末で、総事業費に対する進捗率は50.63%で半分近くが残っています。残りの工事費からみて鹿島の負担は7億円近く残っているとみられます。

中木庭ダムから取水しなくとも、鹿島の水道料が太良よりも6割高い(月10リユベ使用)ことにはわかりがありません。

## うっかり乗って合併したら、あとでひどい目にあう

太郎 それだけじゃない。2月末に合併協議会の財政シミュレーションの改訂版が発表された。財政がいっそう厳しくなると言うことで、23年度までの交付税の削減率を16.6%から23.6%に大きくし、職員の削減率も15%から20%に大きくしている。

良夫 ところが、前に合併協議会で「総合支所をおく」とか「無料の検診を鹿島まで広げる」とか決めたことはそのままなんだね。これはおかしいよ。

太郎 財政シミュレーションでは「きびしくなる」といっているのに、合併協議会できめたことはそのままずっと続けられる保証はますますなくなったということだ。

良夫 結局、財政の裏付けのない大盤振る舞いということだね。こんなものにうっかりのって合併したら、あとでひどい目にあうね。